

【概要】

平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（北海道）【確定値】

※ 本調査は、平成24年度間の北海道の公立学校における暴力行為、いじめ、不登校、中途退学の状況を平成25年度に調査し、公表するものです。  
また、本数値には、札幌市立学校も含まれています。

■基本となる学校数及び児童生徒数

	公立学校総数		在籍児童生徒数	
	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
小学校	1,169校	1,199校	263,131人	267,957人
中学校	643校	652校	137,104人	139,910人
高等学校	245校	248校	109,316人	111,399人
小・中・高等学校の計	2,057校	2,099校	509,551人	519,266人
特別支援学校	62校	62校	5,094人	4,999人
合計	2,119校	2,161校	514,645人	524,265人

※平成24年5月1日現在の数値である。

※いじめにおける高等学校の学校総数については、全定併置校はそれぞれにカウントしており、279校となる。

■結果の概要

1 公立小・中学校、高等学校の暴力行為の発生件数

	平成24年度		平成23年度	
	発生件数	1,000人当たりの発生件数	発生件数	1,000人当たりの発生件数
小学校	39件	0.1	44件	0.2
中学校	965件	7.0	1,203件	8.6
高等学校	313件	2.9	387件	3.5
合計	1,317件	2.6	1,634件	3.1

- 小学校 ～前年度に比べ、5件減少（44→39）している。
- 中学校 ～前年度に比べ、238件減少（1,203→965）している。
- 高等学校 ～前年度に比べ、74件減少（387→313）している。
- 全体 ～前年度に比べ、317件減少（1,634→1,317）している。

2 公立小・中学校、高等学校、特別支援学校のいじめの認知件数

	平成24年度		平成23年度	
	認知件数	1,000人当たりの認知件数	認知件数	1,000人当たりの認知件数
小学校	1,676件	6.4	1,261件	4.7
中学校	2,082件	15.2	1,525件	10.9
高等学校	574件	5.3	461件	4.1
特別支援学校	51件	10.0	14件	2.8
合計	4,383件	8.5	3,261件	6.2

- 小学校 ～前年度に比べ、415件増加（1,261→1,676）している。
- 中学校 ～前年度に比べ、557件増加（1,525→2,082）している。
- 高等学校 ～前年度に比べ、113件増加（461→574）している。
- 特別支援学校～前年度に比べ、37件増加（14→51）している。
- 全体 ～前年度に比べ、1,122件増加（3,261→4,383）している。

3 公立小・中学校の不登校児童生徒数

	平成24年度		平成23年度	
	不登校児童生徒数	在籍比	不登校児童生徒数	在籍比
小学校	667人	0.25%	747人	0.28%
中学校	3,073人	2.24%	3,254人	2.33%
合計	3,740人	0.93%	4,001人	0.98%

- 小学校 ～前年度に比べ、80人減少（747→667）している。
- 中学校 ～前年度に比べ、181人減少（3,254→3,073）している。
- 全体 ～前年度に比べ、261人減少（4,001→3,740）している。

4 公立高等学校の不登校生徒数

	平成24年度	平成23年度
不登校生徒数	780人	833人
在籍比	0.71%	0.75%

- 前年度に比べ、53人減少（不登校生徒数 833→780）している。  
（在籍比 0.75→0.71）

5 公立高等学校の中途退学者数

	平成24年度	平成23年度
中途退学者数	1,721人	1,735人
中途退学率	1.6%	1.6%

- 前年度に比べ、14人減少（中途退学者数 1,735→1,721）している。  
（中途退学率 1.6→1.6）

## 公立小・中学校、高等学校の暴力行為

○平成21年度より、「暴力行為」については、未然防止、早期発見・早期対応の取組が重要であることから、事案の軽重にかかわらず、調査対象とすることとした。

### 1 暴力行為の発生件数の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校	16	89	55	44	39
中学校	764	1,054	1,332	1,203	965
高等学校	31	344	424	387	313
計	811	1,487	1,811	1,634	1,317

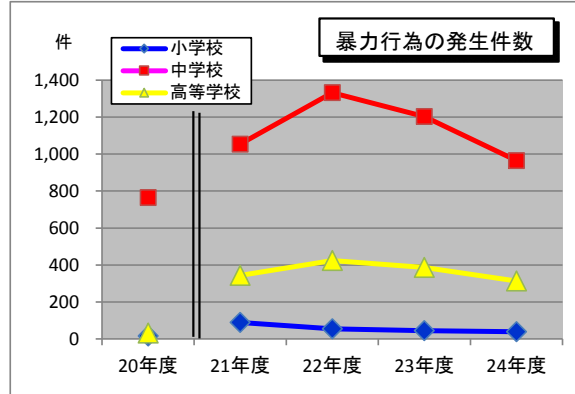
※平成20年度は参考

＜経年変化＞

前年度に比べて、全ての校種において減少している。

＜前年度との比較＞

- 小学校 ～前年度に比べ、5件減少している。
- 中学校 ～前年度に比べ、238件減少している。
- 高等学校 ～前年度に比べ、74件減少している。
- 全体 ～前年度に比べ、317件減少している。



### 2 学校種別暴力行為の発生学校数及び発生件数

		平成24年度			平成23年度		
		発生学校数		発生件数	発生学校数		発生件数
		学校数	発生率		学校数	発生率	
小学校	学校内	14校	1.2%	35件	14校	1.2%	40件
	学校外	4校	0.3%	4件	4校	0.3%	4件
	小計	—	—	39件	—	—	44件
中学校	学校内	133校	20.7%	873件	127校	19.5%	1,059件
	学校外	65校	10.1%	92件	77校	11.8%	144件
	小計	—	—	965件	—	—	1,203件
高等学校	学校内	103校	42.0%	268件	122校	49.2%	318件
	学校外	35校	14.3%	45件	43校	17.3%	69件
	小計	—	—	313件	—	—	387件
合計	学校内	250校	12.2%	1,176件	263校	12.5%	1,417件
	学校外	104校	5.1%	141件	124校	5.9%	217件
	小計	—	—	1,317件	—	—	1,634件

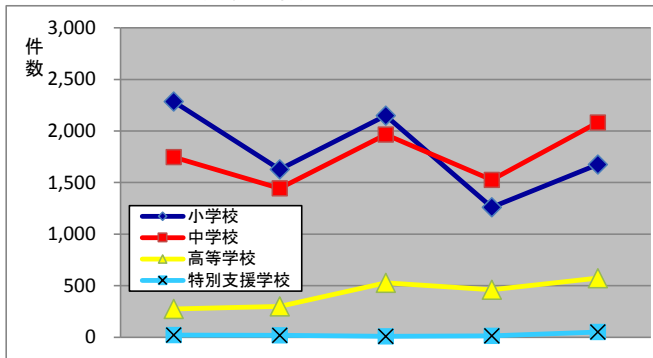
※発生率＝（発生学校数／公立学校総数）×100

### 3 暴力行為の種別発生学校数及び発生件数

		平成24年度		平成23年度	
		発生学校数	発生件数	発生学校数	発生件数
対教師暴力	小学校	3校	9件	4校	13件
	中学校	42校	113件	43校	147件
	高等学校	20校	36件	24校	35件
	合計	65校	158件	71校	195件
生徒間暴力	小学校	12校	20件	13校	24件
	中学校	163校	501件	164校	628件
	高等学校	119校	213件	142校	262件
	合計	294校	734件	319校	914件
対人暴力	小学校	1校	1件	1校	1件
	中学校	18校	24件	27校	48件
	高等学校	5校	5件	11校	12件
	合計	24校	30件	39校	61件
器物損壊	小学校	6校	9件	4校	6件
	中学校	64校	327件	75校	380件
	高等学校	36校	59件	46校	78件
	合計	106校	395件	125校	464件

## 公立小・中学校、高等学校、特別支援学校のいじめ

### 1 いじめの認知件数の推移



※本調査におけるいじめの定義

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められるものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。

これらについては早期に警察に相談・通報のうえ、警察と連携した対応を取ることが必要である。

<経年変化>

いじめの認知件数は、平成20年度以降、減少と増加を繰り返しており、24年度については、すべての校種において前年度を上回る認知件数となった。

<前年度との比較>

- 小学校 ~前年度に比べ、 415件増加している。
- 中学校 ~前年度に比べ、 557件増加している。
- 高等学校 ~前年度に比べ、 113件増加している。
- 特別支援学校 ~前年度に比べ、 37件増加している。
- 全体 ~前年度に比べ、 1,122件増加している。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校	2,285	1,627	2,148	1,261	1,676
中学校	1,748	1,444	1,964	1,525	2,082
高等学校	275	300	528	461	574
特別支援学校	22	19	10	14	51
計	4,330	3,390	4,650	3,261	4,383

### 2 学校種別いじめの認知学校数、認知件数及び在籍比

	認知学校数				認知件数		在籍比	
	学校数		認知率					
	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
小学校	373校	306校	31.9%	25.5%	1,676件	1,261件	0.64	0.47
中学校	354校	313校	55.1%	48.0%	2,082件	1,525件	1.52	1.09
高等学校	159校	141校	57.0%	50.0%	574件	461件	0.53	0.41
特別支援学校	14校	5校	22.6%	8.1%	51件	14件	1.00	0.28

※ 認知率 = (認知学校数 / 公立学校総数) × 100

### 3 いじめの解消状況

	いじめが解消しているもの（解消率）		
	平成24年度	平成23年度	平成22年度
小学校	97.6%	96.4%	94.0%
中学校	94.6%	92.9%	88.6%
高等学校	98.6%	97.0%	90.0%
特別支援学校	94.1%	71.4%	80.0%
計	96.3%	94.7%	91.2%

### 4 いじめ発見のきっかけ（12項目から一つの項目）

	順位	いじめ発見のきっかけ	
		平成24年度	平成23年度
小学校	① アンケート調査など学校の取組により発見	56.3%	67.6%
	② 学級担任が発見	15.2%	9.8%
	③ 本人からの訴え	13.7%	9.1%
	④ 当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	9.2%	6.2%
	⑤ 保護者（本人の保護者を除く）からの情報	2.1%	2.6%
	⑥ 児童生徒（本人を除く）からの情報	1.8%	2.0%
	⑦ 学級担任以外の教職員が発見	0.8%	1.2%
	⑧ 学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.4%	0.8%
	⑨ スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.1%	0.2%
	⑩ 地域の住民からの情報	0.1%	0.2%
	⑪ その他（匿名による投書など）	0.1%	0.1%
	⑫ 養護教諭が発見	0.1%	0.1%
中学校	① アンケート調査など学校の取組により発見	50.8%	54.6%
	② 本人からの訴え	20.9%	21.1%
	③ 学級担任が発見	11.0%	8.7%
	④ 当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	8.9%	6.8%
	⑤ 学級担任以外の教職員が発見	3.2%	3.1%
	⑥ 児童生徒（本人を除く）からの情報	2.5%	3.0%
	⑦ 保護者（本人の保護者を除く）からの情報	1.6%	2.0%
	⑧ 養護教諭が発見	0.4%	0.3%
	⑨ スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.2%	0.1%
	⑩ 地域の住民からの情報	0.2%	0.1%
	⑪ 学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.1%	0.1%
	⑫ その他（匿名による投書など）	0.1%	0.0%

	順位	いじめ発見のきっかけ			
		平成24年度		平成23年度	
高等学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	65.2%	アンケート調査など学校の取組により発見	58.8%
	②	本人からの訴え	14.3%	本人からの訴え	17.1%
	③	学級担任が発見	10.3%	学級担任が発見	6.7%
	④	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	4.0%	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	6.5%
	⑤	学級担任以外の教職員が発見	1.4%	学級担任以外の教職員が発見	4.6%
	⑥	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	1.4%	児童生徒（本人を除く）からの情報	3.3%
	⑦	児童生徒（本人を除く）からの情報	1.2%	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	1.5%
	⑧	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	1.0%	養護教諭が発見	0.9%
	⑨	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.7%	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.2%
	⑩	その他（匿名による投書など）	0.5%	地域の住民からの情報	0.2%
	⑪	養護教諭が発見	0.0%	その他（匿名による投書など）	0.2%
		地域の住民からの情報	0.0%	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0%
特別支援学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	51.0%	アンケート調査など学校の取組により発見	42.9%
	②	学級担任以外の教職員が発見	17.6%	本人からの訴え	35.7%
	③	学級担任が発見	15.7%	学級担任が発見	14.3%
	④	本人からの訴え	13.7%	学級担任以外の教職員が発見	7.1%
	⑤	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	2.0%	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	0.0%
	⑥	養護教諭が発見	0.0%	児童生徒（本人を除く）からの情報	0.0%
	⑦	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.0%	養護教諭が発見	0.0%
	⑧	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	0.0%	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.0%
	⑨	児童生徒（本人を除く）からの情報	0.0%	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0.0%
	⑩	地域の住民からの情報	0.0%	地域の住民からの情報	0.0%
	⑪	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0%	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0%
		その他（匿名による投書など）	0.0%	その他（匿名による投書など）	0.0%

### 5 いじめの態様（9項目から複数選択）

	順位	いじめの態様			
		平成24年度		平成23年度	
小学校	①	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	71.3%	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	71.6%
	②	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	26.7%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	30.2%
	③	仲間はずれ、集団による無視をされる。	22.0%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	23.8%
	④	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	7.5%	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	6.3%
	⑤	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4.2%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	2.1%
	⑥	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	4.1%	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1.8%
	⑦	その他	2.3%	その他	1.0%
	⑧	金品をたかられる。	1.1%	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0.7%
	⑨	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	1.0%	金品をたかられる。	0.6%
中学校	①	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	74.0%	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	75.1%
	②	仲間はずれ、集団による無視をされる。	19.2%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	16.9%
	③	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	18.9%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	14.4%
	④	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	6.8%	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	5.9%
	⑤	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	5.7%	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	5.1%
	⑥	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	3.4%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4.0%
	⑦	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	3.1%	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	2.2%
	⑧	その他	2.0%	その他	1.2%
	⑨	金品をたかられる。	0.6%	金品をたかられる。	0.3%
高等学校	①	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	73.2%	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	68.8%
	②	仲間はずれ、集団による無視をされる。	16.0%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	17.8%
	③	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	13.2%	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	15.6%
	④	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	12.0%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	12.1%
	⑤	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	7.1%	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	8.7%
	⑥	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	7.1%	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	5.2%
	⑦	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	3.5%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4.3%
	⑧	その他	2.8%	その他	3.9%
	⑨	金品をたかられる。	2.6%	金品をたかられる。	1.7%
特別支援学校	①	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	70.6%	冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	64.3%
	②	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	19.6%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	21.4%
	③	仲間はずれ、集団による無視をされる。	11.8%	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	14.3%
	④	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	11.8%	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	14.3%
	⑤	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	11.8%	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	7.1%
	⑥	金品をたかられる。	7.8%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	7.1%
	⑦	その他	5.9%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	0.0%
	⑧	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	2.0%	金品をたかられる。	0.0%
		パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0.0%	その他	0.0%

## 公立小・中学校の不登校

### 1 不登校児童生徒数（公立小・中学校）

	平成24年度		平成23年度	
小学校	667 人	0.25%	747 人	0.28%
中学校	3,073 人	2.24%	3,254 人	2.33%
計	3,740 人	0.93%	4,001 人	0.98%

※年間30日以上欠席した者のうち、主たる理由が「不登校」の者の数

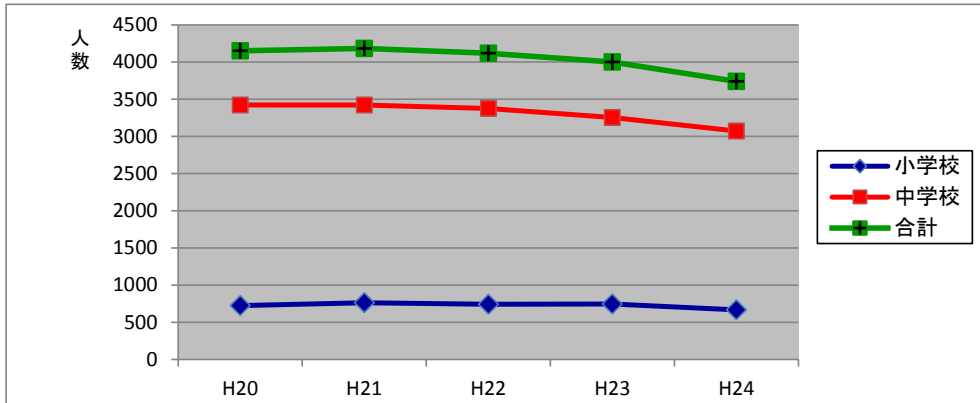
※「%」は在籍児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合

- 小学校 ～昨年度に比べ、80人減少（747→667）している。
- 中学校 ～昨年度に比べ、181人減少（3,254→3,073）している。
- 全体 ～昨年度に比べ、261人減少（4,001→3,740）している。

### 2 不登校の経年変化

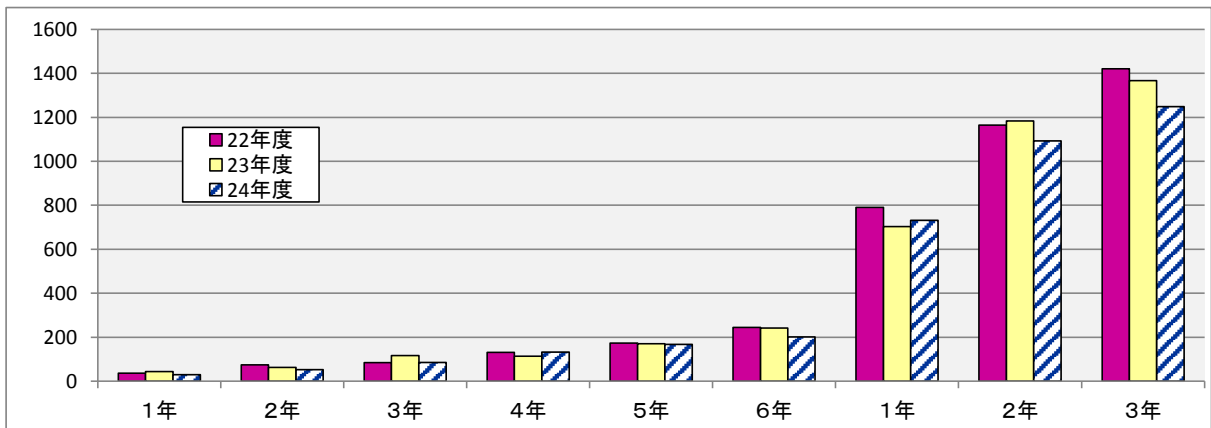
#### (1) 平成20年度以降の不登校の状況

年度間に通算30日以上欠席した児童生徒のうち、不登校を理由とする児童生徒数の推移



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校	726	763	742	747	667
(在籍比)	0.26%	0.28%	0.27%	0.28%	0.25%
中学校	3,424	3,421	3,376	3,254	3,073
(在籍比)	2.35%	2.37%	2.39%	2.33%	2.24%
合計	4,150	4,184	4,118	4,001	3,740
(在籍比)	0.97%	0.99%	1.00%	0.98%	0.93%

#### (2) 過去3年間の学年別不登校児童生徒数の推移



	小学校						中学校		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
22年度	36	74	84	131	173	244	791	1,164	1,421
23年度	43	63	116	113	171	241	703	1,184	1,367
24年度	30	52	85	132	167	201	731	1,093	1,249

3 不登校となったきっかけと考えられる状況（19項目から考えられるもの全てを選び回答）

順位	不登校となったきっかけと考えられる状況						
	平成24年度		平成23年度				
小学校	①	本人に係る状況	不安など情緒的混乱	38.4%	本人に係る状況	不安など情緒的混乱	34.0%
	②	本人に係る状況	無気力	28.0%	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	21.4%
	③	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	21.4%	本人に係る状況	無気力	21.2%
	④	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	13.6%	本人に係る状況	病気による欠席	14.1%
	⑤	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	13.2%	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	12.4%
	⑥	本人に係る状況	病気による欠席	11.4%	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	11.2%
	⑦	学校に係る状況	学業の不振	10.0%	その他		10.3%
	⑧	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	6.1%	本人に係る状況	意図的な拒否	7.6%
	⑨	本人に係る状況	意図的な拒否	5.8%	学校に係る状況	学業の不振	5.8%
	⑩	その他		5.1%	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	5.0%
	⑪	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	4.5%	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	4.8%
	⑫	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	4.3%	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	3.7%
	⑬	家庭に係る状況	家庭内の不和	4.2%	家庭に係る状況	家庭内の不和	3.6%
	⑭	学校に係る状況	いじめ	1.8%	不明		2.3%
	⑮	不明		1.6%	学校に係る状況	いじめ	1.3%
	⑯	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	1.2%	本人に係る状況	あそび・非行	1.1%
	⑰	本人に係る状況	あそび・非行	0.9%	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	0.7%
	⑱	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	0.7%	学校に係る状況	進路にかかる不安	0.4%
	⑲	学校に係る状況	進路にかかる不安	0.1%	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	0.1%
中学校	①	本人に係る状況	無気力	31.6%	本人に係る状況	無気力	30.2%
	②	本人に係る状況	不安など情緒的混乱	29.7%	本人に係る状況	不安など情緒的混乱	26.8%
	③	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	16.7%	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	17.1%
	④	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	10.8%	本人に係る状況	病気による欠席	10.4%
	⑤	学校に係る状況	学業の不振	10.3%	学校に係る状況	学業の不振	9.7%
	⑥	本人に係る状況	病気による欠席	9.2%	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	9.6%
	⑦	本人に係る状況	あそび・非行	8.3%	本人に係る状況	あそび・非行	9.2%
	⑧	本人に係る状況	意図的な拒否	6.7%	本人に係る状況	意図的な拒否	5.8%
	⑨	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	6.0%	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	5.7%
	⑩	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	3.4%	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	3.9%
	⑪	家庭に係る状況	家庭内の不和	3.2%	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	3.0%
	⑫	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	2.5%	家庭に係る状況	家庭内の不和	2.7%
	⑬	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	2.2%	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	2.4%
	⑭	学校に係る状況	いじめ	2.1%	その他		2.2%
	⑮	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	1.7%	学校に係る状況	いじめ	1.7%
	⑯	その他		1.6%	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	1.6%
	⑰	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	1.4%	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	1.3%
	⑱	不明		1.4%	学校に係る状況	進路にかかる不安	1.2%
	⑲	学校に係る状況	進路にかかる不安	0.9%	不明		1.2%

#### 4 不登校児童生徒への指導結果状況

	小学校				中学校				計			
	人数		不登校児童に対する比率		人数		不登校生徒に対する比率		人数		不登校児童生徒に対する比率	
	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	235	247	35.2%	33.1%	777	897	25.3%	27.6%	1,012	1,144	27.1%	28.6%
指導中の児童生徒	432	500	64.8%	66.9%	2,296	2,357	74.7%	72.4%	2,728	2,857	72.9%	71.4%
うち登校に至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	118	140	17.7%	18.7%	600	577	19.5%	17.7%	718	717	19.2%	17.9%
計	667	747			3,073	3,254			3,740	4,001		

#### 5 「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置

	順位	効果があった学校の措置
小学校	①	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。
	②	登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした。
	③	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。
	④	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	⑤	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。
	⑥	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。
	⑦	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。
	⑧	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。
	⑨	様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。
	⑩	スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。
	⑪	友人関係を改善するための指導を行った。
	⑫	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。
	⑬	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。
	⑭	病院等の医療機関と連携して指導にあたった。
	⑮	養護教諭が専門的に指導にあたった。
	⑯	その他
中学校	①	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。
	②	登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした。
	③	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。
	④	スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。
	⑤	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	⑥	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。
	⑦	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。
	⑧	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。
	⑨	友人関係を改善するための指導を行った。
	⑩	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。
	⑪	様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。
	⑫	養護教諭が専門的に指導にあたった。
	⑬	病院等の医療機関と連携して指導にあたった。
	⑭	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。
	⑮	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。
	⑯	その他

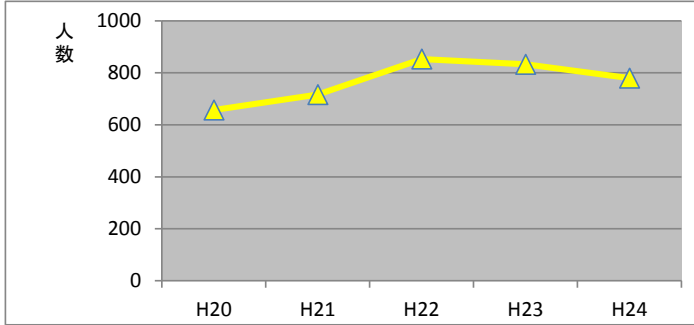
## 公立高等学校の不登校

### 1 公立高等学校における理由別長期欠席者数

年度	在籍数（人）	不登校	経済的理由	病気	その他	計
平成24年度	109,316 (在籍比)	780 0.71%	56 0.05%	169 0.15%	145 0.13%	1,150
平成23年度	111,399 (在籍比)	833 0.75%	26 0.02%	195 0.18%	137 0.12%	1,191

※年間30日以上欠席した者

### 2 公立高等学校における不登校の状況



<前年度との比較>

- 人数 ~前年度に比べ、53人減少している。
- 在籍比~前年度より、0.04ポイント減少している。

【内訳】

- 全日制 421人（0.4%）（前年度443人（0.4%））
- 定時制 359人（6.9%）（前年度390人（7.3%））

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
不登校生徒数	657	716	853	833	780
在籍比	0.56%	0.62%	0.75%	0.75%	0.71%

※年間30人以上欠席した者のうち、主たる理由が「不登校」の者の数  
※平成16年度から調査を実施

### 3 学年別不登校生徒数

	不登校生徒数					
	平成24年度			平成23年度		
	人数	在籍比	構成比	人数	在籍比	構成比
第1学年	209	0.72%	26.8%	297	1.00%	35.7%
第2学年	150	0.52%	19.2%	152	0.48%	18.2%
第3学年	65	0.21%	8.3%	49	0.16%	5.9%
第4学年	5	0.79%	0.6%	9	1.44%	1.1%
単位制	351	1.75%	45.0%	326	1.78%	39.1%

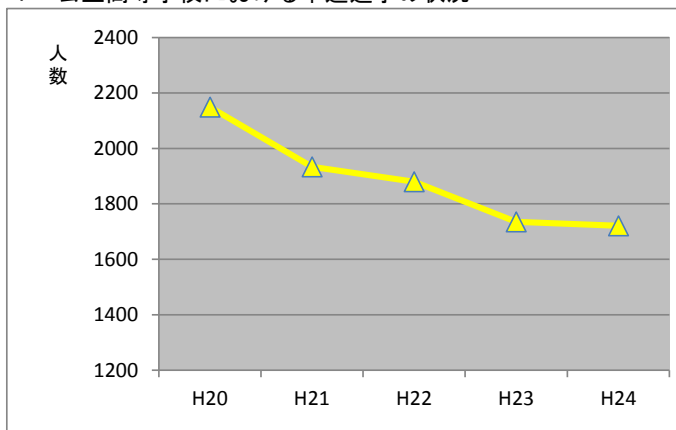
### 4 不登校となったきっかけと考えられる状況（19項目から考えられるもの全てを選び回答）

	不登校となったきっかけと考えられる状況					
	平成24年度			平成23年度		
	本人に係る状況	学校に係る状況	家庭に係る状況	本人に係る状況	学校に係る状況	家庭に係る状況
①	本人に係る状況	不安などの情緒的混乱	27.4%	本人に係る状況	無気力	26.9%
②	本人に係る状況	無気力	26.7%	本人に係る状況	不安などの情緒的混乱	25.6%
③	本人に係る状況	病気による欠席	15.6%	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	13.4%
④	学校に係る状況	いじめを除く友人関係をめぐる問題	12.8%	学校に係る状況	学業の不振	12.1%
⑤	本人に係る状況	あそび・非行	10.8%	本人に係る状況	意図的な拒否	11.8%
⑥	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	9.1%	本人に係る状況	あそび・非行	9.8%
⑦	学校に係る状況	学業の不振	8.1%	本人に係る状況	病気による欠席	9.4%
⑧	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	5.9%	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	5.6%
⑨	学校に係る状況	入学、転編入学、進級時の不適応	5.1%	家庭に係る状況	親子関係をめぐる問題	5.6%
⑩	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	5.0%	家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	4.0%
⑪	本人に係る状況	意図的な拒否	4.4%	学校に係る状況	進路にかかる不安	3.2%
⑫	学校に係る状況	進路にかかる不安	4.1%	家庭に係る状況	家庭内の不和	2.8%
⑬	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	3.1%	その他		2.3%
⑭	家庭に係る状況	家庭内の不和	2.8%	不明		1.6%
⑮	その他		2.4%	本人に係る状況	病気による欠席、あそび・非行、無気力、不安などの情緒的混乱、意図的な拒否のいずれにも該当しない、本人に関わる問題	1.4%
⑯	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	1.7%	学校に係る状況	クラブ活動、部活動等への不適応	1.3%
⑰	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	1.0%	学校に係る状況	教職員との関係をめぐる問題	0.8%
⑱	不明		0.8%	学校に係る状況	学校のきまり等をめぐる問題	0.8%
⑲	学校に係る状況	いじめ	0.4%	学校に係る状況	いじめ	0.2%



## 公立高等学校の中途退学

### 1 公立高等学校における中途退学の状況



<経年変化>  
過去8年間、中途退学者数は減少傾向が続いている。  
なお、在籍比については、昨年度と同数であった。

<前年度との比較>  
○人数 ~前年度に比べ、14人減少している。  
○在籍比~前年度と変わらない。

【内訳】  
全日制 1,250人 (1.2%) (前年度1,169人 (1.1%))  
定時制 471人 (9.1%) (前年度 566人 (10.5%))

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
中途退学者数	2,149	1,934	1,880	1,735	1,721
中途退学率	1.8%	1.7%	1.6%	1.6%	1.6%

### 2 学年別中途退学者数

	中途退学者数					
	平成24年度			平成23年度		
	人数	中退率	構成比	人数	中退率	構成比
第1学年	794	2.7%	46.1%	892	3.0%	51.4%
第2学年	453	1.6%	26.3%	449	1.4%	25.9%
第3学年	146	0.5%	8.5%	171	0.6%	9.9%
第4学年	21	3.3%	1.2%	16	2.5%	0.9%
単位制	307	1.5%	17.8%	207	1.1%	11.9%

### 3 中途退学になった理由（8項目の主たる理由から選び回答）

順位	中途退学となった理由			
	平成24年度		平成23年度	
①	進路変更	39.9%	学校生活・学業不適應	40.2%
②	学校生活・学業不適應	37.3%	進路変更	38.6%
③	学業不振	5.5%	問題行動等	6.2%
④	病気が死亡	4.6%	学業不振	4.9%
⑤	問題行動等	4.3%	病気が死亡	4.3%
⑥	その他の理由	4.2%	家庭の事情	3.1%
⑦	家庭の事情	2.8%	その他の理由	2.0%
⑧	経済的理由	1.3%	経済的理由	0.7%